

結核登録者情報調査月報報告（秋田県）－平成30年（2018年）1月の概況－

■ 1月の概況（概数）

○秋田県の平成30年1月の新登録結核患者数は4人でした。

そのうち、喀痰塗抹陽性肺結核患者数は2人、その他の活動性肺結核患者数は1人、肺外結核患者数は1人でした。
年齢別では、0～59歳が0人、60～69歳が0人、70～79歳が0人、80歳以上が4人でした。保健所管内別では、秋田市保健所管内で1人、大館保健所管内で1人、秋田中央保健所管内で1人、
由利本荘保健所管内で1人でした。

○潜在性結核感染症は2人でした。

■長引く「せき」は赤信号！ 結核に対する一人ひとりの理解が大切です。

○結核の発生状況については、県民の皆さんの注意喚起のために、週報及び月報の情報を提供しています。

○健康に留意し、毎年、定期健康診断を受けましょう。

○2週間以上続く「せき」や「たん」等の症状がありましたら、早めに病院を受診しましょう。

1. 秋田県の新登録結核患者数＜概数＞ 月別、平成30年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
総合患者 分類別 (図1)	秋 田 県	4												4
	喀痰塗抹陽性肺結核	2												2
	他の活動性肺結核	1												1
	肺外結核	1												1
	(別掲) 潜在性結核感染症	(2)												(2)
年齢別	秋 田 県	4												4
	0-59歳	0												0
	60-69歳	0												0
	70-79歳	0												0
	80歳以上	4												4
	(再掲) 70歳以上 %	4 100.0												4 100.0

*用語の説明

新登録結核患者……………新たに結核と診断された患者。

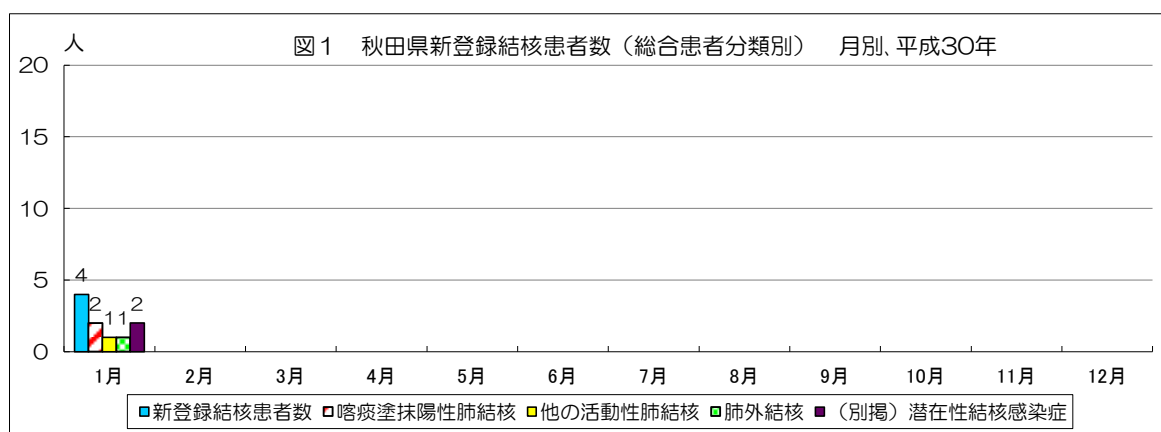
喀痰塗抹陽性肺結核……………たんの中に結核菌が出るようになり、他者にうつすおそれのある重症化した状態の結核。

活動性結核……………結核の治療を要する者。

肺結核……………肺又は気管支を主に冒した結核症。

肺外結核……………肺及び気管支以外の臓器を主に冒した結核症。例えば胸膜、咽頭、腸、腎臓、骨、皮膚等

潜在性結核感染症……………結核菌に感染しているものの、発病しないで一時的に休眠状態にある場合。



2. 秋田県の新登録結核患者数＜概数＞ 月別、保健所別、平成30年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
保健所別	秋田市	1												1
	大館	1												1
	北秋田	0												0
	能代	0												0
	秋田中央	1												1
	由利本荘	1												1
	大仙	0												0
	横手	0												0
	湯沢	0												0
H30年	秋田県（概数）＊	4												4
H29年	秋田県（概数）＊	2	4	6	3	6	11	10	4	13	9	7	6	81

＊月別の合計値（概数）であるため、年報の確定値とは一致しない場合があります。

- 秋田県及び全国の結核情報については、
秋田県健康環境センター、結核予防会結核研究所等のホームページをご覧ください。